

2026年:知財インフレ時代を勝ち抜く「国産LLM」の衝撃

「知財インフレ」の到来と業務の構造変化

特許出願数が
前年同月比170%へ急増

170%

2025年12月には月間約8.2万件という
歴史的な出願数を記録しました。



「管理」から「選別・評価」への パラダイムシフト



管理



選別・評価

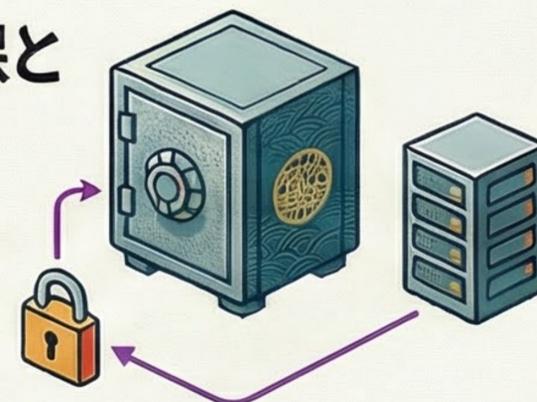


国産LLMが選ばれる理由と圧倒的な導入効果



「データ主権」の確保と 厳格なセキュリティ

機密保持のため、閉域網やオン
プレミスで動作する国産LLMの
採用が推奨されています。



特許調査時間を最大94%削減

94%

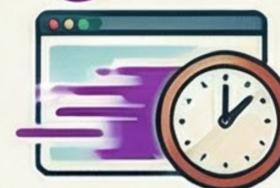
従来22時間要した調査を
3時間へ短縮するなど、
劇的な効率化を実現して
います。

🕒 22時間



従来

🕒 3時間



国産LLM導入

主要な国産LLM/ツールの活用実績とステータス

tsuzumi 2 (NTT)
知財文書作成: 発明抽出から明細
書案の自動生成
2026 200種の業務エージェントへ拡大中

cotomi (NEC)
特許調査: RAG技術により調査時
を大幅短縮
2026 2026年4月よりサービス提供開始

AI Samurai ONE
発明創出: 手書きメモから3分で
提案書を生成
2026 東京都のトライアル制度に認定済み

日本の法制度・特許実務 への高度な最適化

独特の特許構文の理解や、国内の
審査基準に即したドラフト生成が
可能です。

